

広報

2025.6

ふなगत

おかげさまで
第100号

生活支援第一部(おおくら園)



生活支援第二部(かまくら園)



生活支援第三部(とがくら園)



生活支援第四部(はちくら園)



社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会 障害者支援施設 宮城県船形の郷
〒981-3625 宮城県黒川郡大和町吉田字上童子沢21
TEL 022-345-3282 / FAX 022-345-3984
<https://fukushi.miyagi-sfk.net/sato>



ホームページは
こちらから！

木々の緑が日ごとに深みを増す今日この頃、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度は、生活支援第四部（はちくら園）に新たな2つの係を開設しました。特別支援係と、男性利用者が生活する生活支援第二係です。新たな利用者の方々が加わり、さらに賑やかで活気に満ち溢れた生活の場となりました。

利用者の方々が毎食楽しみにされている食事の提供につきまして、6月から給食サービス事業者への業務委託を始めました。当施設開設時から直営方式を継続していましたが、ここ数年は慢性的な人手不足で今後も劇的な解消は難しいことから、安定的な食事の提供を確保するために業務委託方式への転換へと至りました。これまでの食事内容の質を維持していくことを大前提に、事業者と常に密な連携を図りながら進めてまいります。

建物の全面供用開始から1年が経過し、安心・安全な生活環境の中で利用者の方々は生活されています。今後は「個々の特性に応じたさらに質の高いサービスの提供」のため、職員一丸となって取り組んでまいりますので、これまでと同様、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

各部署の取り組み状況について

生活支援第一部 (おおくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

利用者様の地域生活及び社会参加を目標に、日々支援に努めています。

また、ご家族様との連携を大切にしています。毎月各ご家庭へ担当職員から近況報告を行っており、意見等を伺いながら、支援に反映しています。

☆日中活動

個々の利用者様の特性に合わせて、キャップ入れ等の手先を動かす自立課題や、パズル、ボール運動等の活動を提供しています。



☆お花見

今年のお花見は宮床ダムと船形の郷内で行いました。桜を見ながら食べるパンとコーヒーは、格別に美味しかったです。



☆お弁当の日

年に4回利用者様からのリクエストにお応えして、お弁当を注文しています。大変ご好評で、皆様笑顔で召し上がっています。



☆社会体験外出

利用者様のご要望に合わせて、買い物外出やラーメンなどの外食、ふるさと訪問も行っています。



生活支援第二部 (かまくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

行動障害や自閉的傾向のある利用者様の意思尊重、尊厳を重視したサービスを提供し、能力に応じて自立した日常生活を営むことを目標としています。社会体験外出や行事をとおして潤いのある生活を送っていただけるよう取り組んでいます。

☆強度行動障害支援の取り組み

強度行動障害とは、不安・緊張から本人の健康や周囲の暮らしに影響を及ぼす行動の頻度が高いため、特別な配慮が必要な状態のことです。利用者様が安心して状態で過ごせるように、イラストを使用した予定の視覚化や仕切りなどを用いた集中できる環境づくりなど、一人一人に適した支援を提供しています。

また、自立課題や役割をとおして、自信や意欲の向上と自立した日常生活に向けた取り組みを行っています。



イラストで予定を確認している様子



お掃除や自立課題に取り組む様子



☆3月行事

『ひな祭り』ではひな人形を飾り、あられを食べました。利用者様の要望から開催した『アイスクリームを喫食する会』も、美味しさと大好評でした。



☆お花見会

4月はお花見散策とドライブで桜を觀賞しました。今年度最初の行事のため、新しい職員との交流を楽しむことができました。



☆転出職員とお別れ会

3月31日、お別れ会を行いました。職員としたい日の日々を振り返り、別れを惜しまれていました。



☆日常生活の様子

日々の生活の充実を図るため、一人一人に合わせた日中活動を行っています。室内外での運動やパズル、お絵描きで穏やかに過ごすなど、内容は様々です。特にドライブ外出は人気で、皆様楽しみにされています。



元気にラジオ体操



パズルに集中



日課の新聞



毎週末のドライブ

リハビリテーション支援部

昨年度新設されたリハビリテーション支援部の取り組みも、2年目に入りました。

今年度のリハビリテーション支援の目標として、

- ① 提供内容の妥当性を検証しつつプログラムの充実を図る。
- ② 高齢化に伴う機能低下などにより作業活動等を行うことが困難な利用者様に対して、生きがいを持つような作業活動を検討する。
- ③ 障害の特性や対応方法について各部と連携して支援する。

など、よりよい暮らしへ繋がっていきたいと思っています。

リハビリテーション支援部一同、利用者様に適したリハビリテーションを提供するべく、今後も精進してまいりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



☆新人理学療法士が加わりました

1日でも早く利用者様の一助となれるよう頑張ります。よろしくお願いします。





☆誕生会と懇談会
利用者様の誕生日に、誕生会と部長との懇談会を開催しています。ジュースで乾杯をして、お祝いのカードや誕生日プレゼントをお渡ししており、毎回笑顔があふれる会となっています。

生活支援第三部 (とがくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

高齢の方が多く、7割以上が車椅子を使用しており、移動には介助が必要です。生活リハビリや季節を彩る行事をとおして、健康を維持し、利用者様のたくさんの笑顔があふれる生活につながるように、取り組んでいます。



☆日中活動
利用者様の身体機能や好みに合わせた活動を提供しています。生活リハビリ、散策、季節の貼り絵など、皆様意欲的に参加されています。



☆お花見
満開の桜を眺めながら、お花見を開催しました。デザートを召し上がり、桜のフレームで写真撮影をして、移り行く季節を肌で感じられています。



☆外出
利用者様のご希望に合わせ、近隣の商業施設等に出掛けて、リフレッシュをしています。

食事サービス課

【食中毒に気をつけましょう】
気温と湿度が高くなるこの時期は、食中毒に注意が必要です。一般的な食中毒予防の3原則をご紹介します。

①「つけない」

手洗いは細菌を食品につけないために有効です。こまめな手洗い、特に2度洗いが効果的です。



②「増やさない」

食中毒菌の多くは、20℃50度付近で増殖するため、食品は常温に放置せず、冷蔵庫などに入れて適切な温度管理を心掛けましょう。



③「やっつける」

多くの食中毒菌は、食品の中心部まで十分に加熱することで死滅します。また、包丁やまな板などの調理器具は殺菌消毒を定期的に行いましょう。

調理後は、なるべく早めに喫食すること、食中毒を予防し、安心して安全な食事にしましょう。





☆新ユニットオープン
 おおくら園とまくら園から13人が移動され、新しくたんちようユニット・もくれんユニットがスタートしました。新しい生活を楽しみに、皆様笑顔で入所されました。

生活支援第四部 (はちくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】
 行動障害や自閉的傾向のある利用者様が多く在籍されています。広々とした環境を活かし、個別支援、自立支援を充実させ、明るく生き生きと生活できるよう取り組んでいます。



支援方法を職員間で統一



視覚的に理解しやすいよう絵カード等を用いてお知らせ



カードの中から食べたいおやつを選択



リング式手順書を用いて散歩



☆構造化支援の取り組み
 利用者様が見通しを持ち精神的に安定した生活を送ることができるよう、スケジュールや手順書、お知らせを用いて支援しています。職員間で統一した支援を行えるよう、支援の見本を作成し、活用しています。



.....南川ダムお花見.....

.....はちくら園屋外散歩.....

☆日常生活の様子
 それぞれのユニットで、ドライブ外出や散歩、お花見などを行い、日々の生活を楽しまれています。

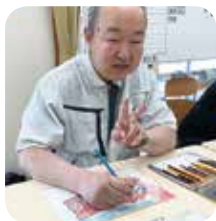


健康を維持するには、若いうちからの取り組みが大切です。将来のためにも、食事・運動・休養といった習慣を見直してみませんか。充実した人生百年時代を創造していきましょう。

かつての仙台藩主・伊達政宗公は当時としては珍しい数えで70歳という長寿を全うした武将でした。1日の行動を細かく決めていた政宗ですが、疲れたときには横になって昼寝をすることもあったようです。規則正しい生活を基本としながらも、自分の体調や気分と向きあい、柔軟に過ごしてきたことが長生きの秘訣だったのでしょう。

日本には現在、百歳を超える長寿者の方が9万人以上います。健康長寿の方は、
 ①認知機能が高い（認知症になりにくい）
 ②フレイル（加齢により心身が衰えた状態）になりにくい
 ③心臓などの循環器系が丈夫
 といった共通点がみられるといえます。

医療支援部
 人生百年時代を生きる



創作活動やパズル、ドリル学習などにも取り組んでいます。



☆屋内作業
今年度も継続してランドリー作業に取り組んでいます。各部で使用しているタオルの仕分け、確認を行い、袋詰めをして配送しています。

日中活動支援係

◎軽作業等による
日中活動の提供

【係の特色と目標】

「作業支援」や「社会体験外出」等に取り組み、地域との関わりを含め、「その人らしい生活の実現」を目指します。



☆農耕作業
4月からジャガイモの栽培を開始しました。「溝掘り」や「畝立て」を行い成長環境を整えました。今から収穫が待ち遠しいです。



☆園芸作業
12月にプランターや花壇に定植を行ったビオラ、パンジーが寒さに負けず見事に満開を迎えました。庭や建物への入り口には色とりどりの花が咲き誇り、春の訪れを感じることができます。



◇ご利用料金

★施設入所・生活介護

- ・食費：1,490円 / 日
- ・光熱水費：320円 / 日
- ・その他日用品等：実費

★短期入所

- ・食費：朝430円、昼530円、夕530円
- ・光熱水費：320円 / 日

※施設入所・短期入所共に、所得に応じた軽減措置となる場合があります。

入所申込み・短期入所利用の流れ

見学申込み

(ご希望の方は、地域移行推進係までご連絡ください。)

見学・相談・生活状況等の確認

※相談支援事業所の同席をお願いしております。

入所申込み・短期入所契約

◇入所・短期入所について

○利用対象となる方

入所・短期入所：知的障害のある障害支援区分4以上(50歳以上の方は障害支援区分3以上)の方。
短期入所：知的障害のある障害支援区分1以上の方。

地域移行推進係

【係の特色】

入所や短期入所に関する相談の受付や、利用者様の地域生活移行等を担当している部署です。

電話：022-725-0606

今年度から広報ひながたは6月と12月の発行となります。前回3月に発行してから、短い期間での発行に不安もありましたが、利用者様の笑顔咲く広報誌が出来上がり、ほくほくしています。ホームページにも、行事や活動の様子を掲載しておりますのでご覧ください。

広報委員会

編集後記

研修は今年度も開催する予定です。申込みお待ちしております。



強度行動障害支援者養成研修の受講者を対象に、学んだ知識を船形の郷で深め、支援力を向上させることを目的に、昨年度から実地研修を始めました。
令和7年3月、1回目を開催しています。自閉症の特性を振り返り、フレームワークを活用した視認の確認、道具を使ったアセスメント、支援手順の作成、所内の見学などを行いました。

強度行動障害支援者 実地研修実施報告